

薬剤師確保のための施策の 検討会とりまとめについて

令和6年10月

1

薬剤師確保計画策定(令和6年3月策定)の主旨

- 香川県においては、少子高齢化のさらなる進行、人口減少地域の増加が予測される中で、人口構造の変化や地域の実情に応じた医薬品提供体制の確保が求められている。
- 令和3年6月に公表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」では、薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題であることが指摘されている。
- 国の「第8次医療計画等に関する検討会」においても薬剤師確保の取組の必要性が指摘され、「医療計画作成指針」において、医療従事者の確保の記載に当たり踏まえるべき観点として、地域の実情に応じた薬剤師確保策の実施等が新たに記載された。
- これらの状況を踏まえ、薬剤師確保対策の検討のための参考として、「薬剤師確保計画策定ガイドライン」が国から示されたことから、本県においても当ガイドラインを参考に「香川県薬剤師確保計画」を策定し、各医療機関や薬局等における薬剤師の確保等の支援に取り組んでいく。
- 薬剤師の地域偏在や業態偏在を解消するためには長期的な対策が必要となるため、本計画の目標年度を令和18年度とする。

2

香川県における薬剤師の偏在

- 国から示された香川県の将来時点（令和18年度）の偏在指標から、いずれの圏域においても、病院より薬局に薬剤師が偏在しており、病院薬剤師の確保が必要である。
- 薬局は、地域において、調剤を中心とする医薬品等の提供拠点として、地域医療に貢献することが求められており、薬局薬剤師の安定的確保と資質の向上が必要である。

【将来時点（令和18年度）の偏在指標】

地域別

医療圏	偏在指標
香川県	1.16
小豆	0.83
東部	1.17
西部	1.14

地域別・業態別（薬局薬剤師）

医療圏	偏在指標	区域分類
香川県	1.32	多数県
小豆	0.98	少数でも多数でもない区域
東部	1.32	多数区域
西部	1.33	多数区域

地域別・業態別（病院薬剤師）

医療圏	偏在指標	区域分類
香川県	0.85	少数でも多数でもない県
小豆	0.58	少数区域
東部	0.89	少数でも多数でもない区域
西部	0.77	少数区域

薬剤師確保対策検討会の開催

「香川県薬剤師確保計画」においては香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、大学等と連携し、協議・検討を行いながら薬剤師確保対策を進めることが重要である。

☞これらの機関の代表者を検討会委員とし、「香川県薬剤師確保対策検討会」を開催した。

検討会	検討内容	検討会委員の意見
第1回	・香川県薬剤師確保計画の説明 ・スケジュール案の提示 ・各団体の取り組み ・施策についての意見交換	・薬局の待遇がよい。病院に行く学生は、給与よりもやりがい、病院薬剤師になりたい学生である。 ・県内に戻ってきた方に、どこに就職先があるか状況を伝えられるような仕組みがあればよい。 ・小豆は、なかなか人が行かず、場所的に難しい。地域的に本当に人が行かないようなところに、人を派遣するような仕組みがないと解消するのは難しい。 ・特に力を入れないといけない2つは、病院薬剤師の確保と小豆への確保。偏在の解消がメインとなる。
第2回	・施策ごとの検討（具体的事業、優先度、役割分担等）	・小・中学生のうちに、薬剤師という職業を知って進学しないと薬剤師の確保にはならない。まずは薬剤師という職業を知ってもらうのが一番よい。 ・各団体それぞれが（イベント等を）独自にやっていて、連携した形での情報発信がうまくできてない。（ホームページ上で）リンクしながらだと非常によい。
第3回	・議論の整理、取りまとめ	

現在の課題

検討会で明らかになった、香川県における現在の主な課題は以下のとおり。

- 薬局、病院間での偏在
(薬局:病院に比べ初任給がよい)
- 薬局、病院共に、より大きな(大手の)薬局、病院への偏在
- 県内での偏在(小豆地域、西部地域が病院薬剤師少数区域)
- 県内薬学生の多くが県外に就職
- U、J、Iターン希望者への就職情報の提供方法
- 小豆地域では奨学金制度はあるものの、あまり利用されていない

重点取り組み

☞これらの課題の中から香川県における薬剤師確保対策として重点的に取り組む項目を以下の3項目とした。

- ① 小豆地域、西部地域における病院薬剤師の偏在解消
- ② 薬学生、転職者等への情報発信
- ③ 若年層への普及啓発

重点取り組み

①小豆地域、西部地域の偏在解消

香川県における将来時点(令和18年度)の

病院薬剤師の偏在指標

医療圏	偏在指標	区域分類
香川県	0.85	少数でも多数でもない県
小豆	0.58	少数区域
東部	0.89	少数でも多数でもない区域
西部	0.77	少数区域



☞少数区域である小豆、西部地域では
薬剤師の増加を基本とし、確保が
必要な目標薬剤師数を定める

確保が必要な薬剤師数

医療圏	目標 薬剤師数(人)	要確保 薬剤師数(人)
小豆	15	3
西部	196	14

令和8年までに

小豆地域では3人、西部地域では14人
の病院薬剤師を確保する必要がある。

病院を対象とした

実態調査・訪問 を実施。

☞小豆地域、西部地域を重点的に

重点取り組み

②薬学生、転職者等への情報発信

就職情報や県内で従事する薬剤師向け情報、若年層・保護者向けの情報など、各機関による
情報提供はあるものの、必要とする人に必要な情報が届いていない、各機関・情報がリンクして
おらずアクセスしづらいという現状がある。

☞情報発信強化のため、一元的な情報発信を目標とする



重点取り組み

③若年層への普及啓発

薬剤師確保のためには薬剤師を目指す若年層を拡大する必要がある。

☞若少の頃から薬剤師の職業に関心を持ってもらうための普及啓発を行う。

小・中・高校への
学校訪問・出前講座
(特に小豆地域、西部地域)

職場体験・校外学習の
受け入れ
(調剤体験、薬学研究体験、病院見学)

イベント開催
(薬学・薬剤師体験、オープンキャンパス)

SNS等を活用した情報発信

今後について

- 香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、大学、香川県において、各団体とも協力しながら薬剤師確保のための様々な施策を実施していく。
- 施策の進捗については、検討会等で共有を行う。